

質 問 順 位	2	質 問 者	安 樂 良 幸 議員	
件 名	項 目	要 旨		メ モ
1. 市政運営の基本的な考え方	1. 3期目折り返しにおける市政運営について	1. 令和3年度は、前田市政3期目の折り返しの年度である。 元年度、2年度は市立病院の経営悪化に伴う財政難や、新型コロナウイルス感染症対応により、市長が当初思い描いた政策を修正せざるを得ない状況になったものと思料する。 そこで、市長の現状認識と今後の方向性などの考えについて伺う。		
2. 元気な産業と活力あるまちづくり	1. 本市の基幹産業である農業について	1. 農作業の省力化や低コスト化を図るため、関係機関と連携して農薬散布用ドローンをはじめとするICT技術の普及を推進するとあるが、現状、本市におけるICT農業はどこまで進んでいるのか。また、将来を見据えた構想について伺う。		
	2. 森林管理事業について	1. 分収造林地における保育間伐事業の現状と今後の計画概要について伺う。		
3. 豊かな資源を活かした魅力あふれるまちづくり	1. 本市の観光振興について	1. 昨年オープンし、多くの観光客が訪れた滝川キャンプサイトを核として、カヌーやパークゴルフ、グライダーなどの周辺観光スポットを一体的に活用した事業の展開を図り、集客力と経済波及効果の向上を目指すとするが、市産業振興部が先頭に立ち、北のたまゆら、たきかわ観光協会、滝川市スポーツ協会、滝川振興公社、滝川スカイスports振興協会などを組織化し、いわばプロジェクトチームのようなものを編成して、英知を集結し、計画の作成や広報要領等に取り組むことが必要と考えるが市長の見解を伺う。		

質問順位	2	質問者	安 樂 良 幸 議員	
件 名	項 目	要 旨		メ モ
	2. 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会との連携事業について	1. 新型コロナウイルス感染症により、先を見通せない状況ではあるが、8月に予定されているアルゼンチン共和国パラカヌー代表の滝川合宿については、パラリンピックが開催される前提で準備を進めているものとする。受入れ全般のスケジュールを含めた準備状況について伺う。		
		2. 今回のアルゼンチン共和国パラカヌー代表の滝川合宿は、本市を国内・外にPRする絶好の機会と考える。どのように発信していくのかを伺う。		
4. 機能的な生活基盤の充実したまちづくり	1. コンパクトシティ形成に向けた取り組みについて	1. 都市計画マスタープランの見直しに先行して「立地適正化計画」の策定に着手するとあるが、計画の概要について伺う。		
	2. 東団地跡地の分譲について	1. 東団地跡地の分譲販売が昨年開始されたが、売買の状況及び今後の予定について伺う。		

質問順位	2	質問者	安 樂 良 幸 議員	
件 名	項 目	要 旨		メ モ
5. 誰もが住みよい安全 安心なまちづくり	1. J R根室本線（滝川～富良野間）の維持・存続について	1. J R根室本線の維持・存続については、現在、沿線自治体と連携し、J R北海道が策定したアクションプランに掲げる利用促進策を実施しているが、新型コロナウイルス感染症の影響により、利用客が激減して赤字が増大しているものと思料する。 北海道と連携し根室本線対策協議会で検討を重ねても限界があると思われ、鉄路を維持・存続するためには、強力な国の支援が不可欠と考える。現段階での国や北海道及び根室本線対策協議会が進めようとしている方向性について伺う。		
	2. 市立病院看護師の確保対策について	1. 看護師の確保は、市民の健康維持・増進のため、医師の確保と同様に極めて重要である。看護師の定数を維持するためには採用も当然大事であるが、努力を傾注する焦点は離職防止だと考える。離職を防止するためには処遇改善と、風通しの良い職場環境の醸成が必要だと思うが、市長の見解を伺う。		
	3. 河川機能の保全について	1. 近年は我々の想定を逸脱した降雨による自然災害が各地で多発している。大規模河川の氾濫による被害もあるが、最近は大規模河川の氾濫による被害も増加傾向にあるものと認識している。本市においては、河川機能の保全に向け緊急浚渫推進事業を計画しているが、概要と期待する効果について伺う。		
6. 未来へはばたく子どもたちを育むまちづくり	1. 國學院大學北海道短期大学部との連携について	1. 同短期大学部が本市に所在することにより、若年者人口が増え、ゼミ活動やボランティア活動など、さまざまな形で地域に活気をもたらし貢献していただいている。 併せて、本市の経済効果（ふるさと納税を含む。）にも寄与していただいております。今後も良好な関係を維持すべきだと思うが市長の考えを伺う。		

質問順位	2	質問者	安 樂 良 幸 議員	
件 名	項 目	要 旨		メ モ
7. 市民が活躍するまちづくり	1. 「えべおつ市民大学（仮称）」の開設について	1. 農村環境改善センター運営委員会と連携し、國學院大學北海道短期大学部や関係団体と協力しながら地域の人材や特色を活かした「えべおつ市民大学（仮称）」の開設を目指すとするが、どのような活動を考えているのか伺う。		
8. 効率的な行政運営によるまちづくり	1. 文化センターの今後の在り方について	1. 文化センターの在り方を検討する市民会議が立ち上がり検討が開始された。今後数回の会議が計画・実施され、答申という流れになると推察するが、今後のタイムスケジュールについて伺う。		
	2. ふるさと納税について	1. 令和2年度のふるさと納税は、寄付額が13億円を超え、財政難の本市にとっては貴重な自主財源の確保となり、多大な成果を収めたものと思料する。財政課を中心とする関係職員並びに関連企業、生産者の皆様に敬意を表する。 令和3年度は返礼品の新規開発はもとより、状況が許せば大都市部でのPR事業を複数回実施するとともに、新しいポータルサイトに登録し寄付の増額を目指すべきだと思うが、市長の見解を伺う。		
	3. マイナンバーカードについて	1. マイナンバーカードについては、国の制度として今後益々取得者が増えると思うが、本市における現時点での取得率及び今後取得率を向上させるため、どのような方策を考えているのか伺う。		

質問順位	2	質問者	安 樂 良 幸 議員	
件 名	項 目	要 旨		メ モ
9. 教育行政	1. 学校教育について	1. 新年度からいよいよ小中学校でG I G Aスクールが開始されるが、初めて端末に触る児童・生徒が多く操作要領習得まで時間を要するものと推察する。 また、教職員はI C Tを活用した指導法の習得が必須となり、今以上に負担がかかるものと予想される。空知教育センター主催のG I G Aスクール対応講座やプログラミング教育に関する研修会の活用などにより実践力を養成するとあるが、新年度の教育開始までの各研修等タイムスケジュールについて伺う。 併せて、教職員の指導レベルの均一化を図るため、研修等終了後に練度判定などの機会を設けるべきだと思いが見解を伺う。		
		2. 学校全体の授業改善を図るため、第三小学校と西小学校で取り組む「授業改善推進チーム活用事業」及び江陵中学校区で取り組む「中1ギャップ問題未然防止事業」の事業概要と市内各小中学校への成果の普及要領について伺う。		
		3. 教員の働き方改革については、「学校における働き方改革教育職員業務改善推進プラン」に基づき進めていると思うが、どうしても部活動に関わる教職員は長時間勤務になりがちである。実態把握と対策を講じているのか伺う。		